

亀田医療大学への不正アクセスに関するお知らせとお詫び

このたび、亀田医療大学で運営している情報システムを管理するサーバーが、第三者による不正アクセスを受け、身代金要求型マルウェア（ランサムウェア）に感染し、データが改変されていることが確認されました。

本事案は、令和4年12月8日（木）にネットワークの不通を確認した職員がメンテナンスを担当する外部ベンダーに通報し、その後の調査から、同日未明より第三者による不正アクセス攻撃を受け、情報システムを管理するサーバー及びバックアップサーバーが暗号化されていることが判明しました。事案発覚後、直ちにネットワークを遮断し、調査を開始しました。当該サーバーのログを確認したところ、サーバー内において不正なユーザーがないことや異常な通信がなかったことを確認しており、これまでのところ、個人情報を悪用された事実は確認されておりません。本事案については、警察をはじめとする諸機関に相談しており、引き続き、調査を継続して参ります。

本学では、個人情報の保護や情報セキュリティへの対策等を定め、適切な管理に努めておりますが、今回、このような事案が発生し、関係者の皆様に変なご迷惑をお掛けすることとなり、深くお詫び申し上げます。今回の事態を重く受け止め、二度とこのような事態を招くことのないよう、再発防止に努めて参ります。現在は、支障をきたしている本校の業務遂行に対し応急的な対応を行っていますが、今後は、より安全で、安心なキャンパス環境の構築に向け、進めて参ります。

令和4年12月27日

亀田医療大学長 橋本裕二

亀田医療大学事務局長 江羅茂